

～下記の研究を行います～

『鼓室形成術Ⅳ型を施行した耳小骨奇形例の検討』

【研究責任者】西村洋

【研究の目的】耳小骨奇形は聴力改善手術として、鼓室形成術Ⅲ型、Ⅳ型、アブミ骨手術を状況に応じて選択する疾患である。鼓室形成術Ⅳ型の聴力成績についての報告は少ない。当科で施行した症例について詳細に検討する。

【研究の期間】研究許可日～2021年12月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2013年4月から2016年3月までに独立行政法人国立病院機構大阪医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科で鼓室形成術Ⅳ型を受けた耳小骨奇形と診断された方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：

なし

情報：

年齢、性別、再建材料、聴力成績など

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。

その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 耳鼻咽喉科科長 西村洋